

ケース 7

仕事には熱心だが、無理をしているように見える部下

学習日 月 日

理解度 A B C

ケース

岩井さんは、入社12年目の中堅の社員。真面目で意欲的に仕事をする実力を買われ、この4月からリーダーになりました。新しい企画にもチャレンジし、はりきって仕事をしています。その熱心さには、周囲も脱帽するほどです。厳しい期限の仕事も必ず間に合わせるので、上司の吉田課長も安心して仕事を任せていました。

岩井さんは、自分の仕事だけではなく、自分のチーム全体の進行にも責任を持っています。チームに遅れが出ては大変と、遅れ気味な部下の仕事もカバーしています。この数ヶ月よく残業をしているようなので、吉田課長が残業時間を調べたところ、月に50時間を超えることも少なくありませんでした。

最近、部下の間からも、「カバーしてもらえるのはありがたいけれど、期限のことばかりを気にして、職場がなんとなくギスギスした雰囲気になっている」という声も上がり始めました。

吉田課長は岩井さんに、「あまり無理をしないように」と声をかけるのですが、逆に「それでは納期に遅れてもいいのですか?」と言い返されてしまいます。また、顔色も悪く、疲れているように見えるため、吉田課長が少し休むように言っても、「疲れていません、大丈夫です」の一点張りで、岩井さんはまったく聞きません。あまり強く言うと、今度は「仕事をきちんとやって何が悪いのですか!」と感情的になってしまいます。

岩井さんの体調を心配しているものの、吉田課長はどのように接したらよいか迷っています。



考えてみよう

◎岩井さんがそこまで仕事にのめり込んでいるのは、なぜだと思いますか?

◎岩井さんの体調が悪化しないために、吉田課長はどのように関わったらよいでしょうか?
